

商工労働部

(予 算 額) (決 算 額)

商工企画課

I 商業振興費

- 1 特別高圧受電事業者支援事業

144,242

124,974
〔 翌年度繰越額 〕
14,545

電気料金価格高騰の影響を受けた特別高圧を利用する県内中小企業者に対して支援した。

II 計量検定費

- 1 計量器検定・指導啓発事業

11,513

9,759

計量器等の検定・検査及び計量関係事業者の指導等を行った。

主 な 項 目	個 数
特定計量器検定・検査 (タクシーメーター、燃料油メーター等)	2,515個
はかりの定期検査	2,638個
燃料油メーター立入検査	154個
石油ガスメーター立入検査	5,496個

商工振興課

I 商業振興費

- 1 小規模事業経営支援事業

1,376,279

1,364,607

小規模事業者の振興と経営の安定を図るため、商工会、商工会議所及び県商工会連合会が設置した経営指導員等が行う経営改善普及事業等に係る支援を行った。

事業区分	主 な 項 目	件 数 等
商工会等	指導員による巡回指導件数	26,606件
〔 31商工会 〕	指導員による窓口指導件数	40,273件
7商工会議所	金融の斡旋 (件数)	779件
〔 県商工会連合会 〕	(金額)	4,406百万円
	講習会の開催回数	3,578回

- 2 中小企業団体支援事業

113,429

113,428

事業協同組合、商工組合等の組織化の推進や人材養成等を図るため、和歌山県中小企業団体中央会が設置した指導員等が行う組織化指導事業等に係る支援を行った。

主 な 項 目	件 数 等
組合等の指導事業	
組合等の指導件数	3,259件
組合等の相談件数	1,877件
活性化情報提供事業	毎月発行 650部×12箇月

Ⅱ 金融対策費

1	中小企業融資制度実施事業	82,584,750	64,340,381
---	--------------	------------	------------

県内中小企業者が、経営の安定化や事業の活性化に必要な資金を円滑に調達できるよう、金融機関及び信用保証協会と協力して融資を行った。

制 度 名		新規融資実績	
		件 数	金 額
振興対策資金	一 般	93	930,560
	経営者保証改革	3	113,000
短期決済資金	一 般	47	590,580
経営支援資金	一 般	37	649,500
	セーフティ	65	2,401,180
	経営力強化	101	1,936,210
小企業応援資金	一 般	32	252,170
	小 口	842	3,259,660
	特 小	4	24,700
新規開業資金	創 業	105	480,450
	創業サポート	89	450,140
資金繰り安定資金	借 換	161	2,722,600
	セーフティ	20	802,500
	経営改善・事業再生	30	692,258
	貸上げ支援	976	19,897,715
	協調支援	456	13,858,600
成長サポート資金	チャレンジ応援	1	10,000
事業承継支援資金	承継特別支援	3	84,000
計		3,065	49,155,823

				融資残高 (令和8年3月31日現在)	件 数	金 額
					18,755	192,303,487
2	信用補完制度実施事業	166,103	156,150	中小企業の金融円滑化のため、信用保証料の軽減及び代位弁済に係る損失補償を行った。		
				内 容	金 額	
				信用保証料補助	94,544	
				損失補償補填	61,606	
Ⅲ	工鉱業総務費					
1	石油貯蔵施設立地対策事業	131,602	131,262	石油貯蔵施設周辺地域住民の福祉の向上を図るため、石油貯蔵施設の設置に伴う市町の公共用施設整備に対して補助した。		
				市 町 名	金 額	公共用施設種別
				和歌山市	3,637	消防施設
				海南市	53,054	消防施設、防災道路
				有田市	57,841	消防施設、防災道路
				紀の川市	1,925	消防施設
				紀美野町	1,776	消防施設
				湯浅町	4,107	消防施設
				有田川町	8,821	消防施設
				計	131,161	
公営企業課						
I	商業総務費					
1	資産価値変動調整補填事業	157,000	157,000	予期せぬ地価下落が原因で発生する土地造成事業会計における不足金に対して、補填を行った。		
労働政策課						
I	労政総務費					
1	労働関係等調査事業	1,508	780	労使関係総合調査及び労働条件等実態調査を行った。		
2	労働教育指導事業	1,670	1,129	労働セミナー及び企業への人権研修を行った。		
				・労働セミナー	参加者数	延べ463人

II 労働福祉費

1	労働者福祉協議会助成事業	2,330	2,330	勤労者福祉の向上に寄与するため、（公社）和歌山県労働者福祉協議会が行う講演会や研修会に対して補助した。
2	勤労福祉会館管理運営事業	20,895	20,895	勤労福祉会館プラザホープの管理を指定管理者である（一財）和歌山県勤労福祉協会に行わせた。

III 雇用促進費

1	障害者・高齢者雇用対策事業	10,635	10,516	障害のある人の就業しやすい環境整備のため、ジョブサポーターの育成・派遣及び障害者雇用の啓発活動を実施した。また、高齢者の就業機会を確保するため、シルバー人材センター連合会の取組を支援した。
2	産業を支える人づくりプロジェクト事業	19,538	19,363	工業高校におけるものづくり企業と連携した人材育成の外、就職希望の高校3年生を対象にした応募前企業ガイダンスの開催や就職ガイドの作成・配布、就職情報ポータルサイトによる県内企業の魅力発信を行った。
3	働き方改革推進事業	5,537	5,140	柔軟な働き方が可能なテレワークの普及促進のため、テレワークフェアやテレワーカー養成研修等を実施した。 ・テレワークフェア、テレワーカー養成研修等 参加者数 延べ700人
4	わかやまU I ターン就職促進事業	76,160	74,503	県内外の大学生、第二新卒者、既卒未就業者、転職希望者等の県内就職を促進するため、県内企業の求人情報等を収集し、ホームページやガイドブック、就職セミナー等を通じて情報提供するとともに、県内外での企業説明会や県内企業でのインターンシップを実施した。
5	外国人材受入促進事業	29,645	27,523	外国人材の県内就職を促進するため、企業及び外国人材向けの相談窓口を運営するとともに、各種セミナー及び企業説明会の開催や、ベトナムの高等教育機関等と連携し、インターンシップ制度を構築した。また、外国人材が安心して働ける受入環境を整備するため、県内企業による就業環境及び生活環境の整備に要する経費に対して補助した。

IV 産業技術専門学院費

1	産業技術専門学院運営事業	56,098	47,859	主に新規学卒者を対象にした職業訓練を実施し、若手技能者の育成を行った。 ・和歌山産業技術専門学院 27,420 ・田辺産業技術専門学院 20,439
2	産業技術専門学院整備事業	55,270	48,460	県内産業の発展に寄与する時代ニーズに対応した人材を育成するため、和歌山産業技術専門学院及び田辺産業技術専門学院の機器整備等を実施した。

3	委託訓練事業	155,612	118,597	離転職者等を対象にした職業訓練を民間教育訓練施設等への委託により実施し、就業促進を図った。
---	--------	---------	---------	---

企業振興課

I 貿易振興費

1	国際経済交流支援事業	4,898	3,814	県内企業の海外進出を支援するため、（公財）わかやま産業振興財団に委託し、和歌山国際経済サポートデスクを運営した。 ・事業内容：貿易・投資相談、情報収集・提供及びセミナーの開催 ・事業実績：貿易・投資相談 70件 セミナー開催 3回（参加者合計109人）
---	------------	-------	-------	--

II 物産観光斡旋費

1	県産品振興事業	45,953	43,813	県産品の販売促進及びブランド化の推進を目的として、県産品推奨制度「和歌山一番星アワード」により、推奨品の認定を行った。また、公式WEBサイトやSNSを活用した情報発信に加え、東京都内でのPRイベントを開催し、本制度及び認定商品の認知度向上を図った。さらに、過去に認定された優良県産品についても、継続的なプロモーションを実施した。 〔和歌山一番星アワード〕 ・第1回推奨品認定 20商品 ・第1回認定商品PRイベント開催（東京） （令和8年2月20日/参加者数：約100人） 〔プレミアム和歌山プロデュース〕 審査委員特別賞を受賞した事業者に対し、審査委員の個別アドバイス及びプロデュースを行った。 〔販売促進イベント〕 ・ガモールマルシェ（東京）の和歌山フェアに出品した。 （令和7年6月12日～15日 24事業者出品） ・第27回アバロームロハスフェア（県内）に出展を企画した。 （令和7年9月5日 9事業者出展を企画）※台風の影響で中止 ・展示会「インバウンド向けグッズEXPO夏」（東京）に出展した。 （令和7年7月2日～4日 10事業者出展）
---	---------	--------	--------	---

				・オンラインお土産サービス「みやげっと d e プレミア和歌山」を実施した。 (L I N E 等でプレミアム和歌山ギフトが簡単に贈れるサービス)
2	わかやま産品魅力再発見事業	8,410	8,410	県産品のブランド力向上と販路拡大のため、(株)三越伊勢丹との協働により、県産品のブラッシュアップ、ムードマークオンラインサイトでの販売とプロモーションを実施した。
Ⅲ 中小企業振興費				
1	皮革産業総合振興事業	9,150	8,999	〔零細皮革産業技術指導〕 皮革産業の体質強化を図るため、零細皮革企業を対象に、技術指導員が品質管理・技術習得等の巡回技術指導を行った。(年間1社) 〔東京レザーフェア出展〕 皮革製品の需要開拓を図るため、国内最大の見本市である東京レザーフェアに出展した。 ・第109回東京レザーフェア 令和7年5月22日～23日 出展企業数 6社 開催場所 東京都立産業貿易センター台東館 ・第110回東京レザーフェア 令和7年12月4日～5日 出展企業数 6社 開催場所 東京都立産業貿易センター台東館 〔皮革産地展示会開催〕 和歌山産皮革製品の優れた点を広く一般消費者に訴えけるとともに、和歌山レザーフェスティバルを開催した和歌山県製革事業協同組合に対して補助した。 ・和歌山レザーフェスティバル 令和7年11月29日～11月30日 主催者 和歌山県製革事業(協組) 開催場所 マルコーホーム中央コミュニティセンター
2	伝統工芸品産業振興事業	3,156	2,931	伝統工芸品産業の振興を図るため、産地組合等が実施する後継者育成事業に対して補助した。 ・経済産業大臣指定伝統的工芸品 紀州漆器、紀州箆笥、紀州へら竿 ・県知事指定郷土伝統工芸品 紀州へら竿、保田紙、御坊人形、皆地笠、那智黒硯、野鍛冶刃物、紀州雛、棕櫚箆、根来寺根来塗、紀州高野組子細工
3	中小企業支援センター事業	33,710	31,213	(公財)わかやま産業振興財団が実施する県内中小企業等の事業の構想、準備から成長の各段階における人材・技術・資金・情報等の各種相談にワンストップで対応するため

4	プロ人材活用事業	74,534	64,182	の支援等に要する経費に対して補助した。 (公財)わかやま産業振興財団内に「プロフェッショナル人材戦略拠点」を設置し、県内企業が自社の成長・拡大・発展のために必要となる中核人材(プロフェッショナル人材)の採用や副業・兼業人材の活用に対して支援した。 ・成長企業支援補助金 交付実績 1件 ・副業・兼業人材活用促進補助金 交付実績 55件 ・副業・兼業人材活用拡大推進補助金 交付実績 4件 ・プロフェッショナル人材戦略拠点相談件数 161件 ・プロフェッショナル人材成約件数 45件 ・副業・兼業人材成約件数 73件
5	和歌山産品販促支援事業	110,424	96,587	県内中小企業が持つ優れた製品や技術力をPRするために行う国内外の著名な展示会への集団出展や海外ビジネスミッション実施など販促活動に対して補助した。 ・海外展示会集団出展支援 10社 ・海外展示会個別出展支援 25社 ・国内展示会集団出展支援 55社 ・国内展示会個別出展支援 25社 ・ベトナムビジネスミッション 5社 ・タイビジネスミッション 7社 ・インドビジネスミッション 7社
6	わかやま地場産業ブランド力強化支援事業	33,000	30,334	賃加工・下請型のビジネスモデルから脱却し、企画・提案型のビジネスモデルを目指す地場産業の企業等7者に対して補助した。
7	和歌山戦略経営塾事業	6,330	6,181	県内の経営者や後継者等を対象に、次代の和歌山県経済をリードする人材の輩出を目的とした「和歌山戦略経営塾」を開催した。 ・開講回数 6回 塾生 14人
8	きのくにICT教育(ステップアッププログラム)事業	4,567	3,498	ICT人材の育成の強化のため、中・高校のICT教育に取り組む部活動(パソコンクラブ等)に外部指導者を派遣した。 ・指導者派遣回数 119回、派遣校数 15校
9	地域課題解決型起業支援事業	76,857	69,937	地域課題解決を目的として新たに起業する者を対象に、起業に必要な経費に対して補助した。(起業支援金) ・補助金交付実績 30件 起業支援金の採択者のうち東京23区等からの移住する者を対象に移住先の市町村と連携

				し、移住支援金を支給した。（移住支援金）
				・補助金交付実績 1 件
				起業支援金の採択者のうち希望する者を対象に、ふるさと納税型クラウドファンディングを実施し、目標額に達したプロジェクト実行者に奨励金を支給した。
				・目標額達成実績 3 件
10	デザイン経営価値共創支援事業	20,000	19,998	デザイン経営の手法を用いて、県内中小企業の企業価値・商品価値の向上を図るため、キックオフイベント、セミナー及びワークショップ等を開催した。
11	D X推進事業	70,956	64,889	デジタル経営診断の実施及びデジタルマーケティングに関する知識・スキルの習得や主に製造現場におけるデジタル技術を用いた改善知識・スキルを習得する講習会を開催した。
				・デジタル経営診断ツールを用いた診断 185社
				・現場カイゼン講習 6 社
				・デジタルリテラシー・デジタルスキル標準習得講習 164社
				・R P A講習 48社
				・アプリ開発講習 20社
				・生成A I 実践講習 54社
				・生成A I 活用講習 19社
12	社会課題解決型企業創出支援事業	26,848	26,178	〔社会課題解決マッチング支援〕
				地域の課題を明らかにするとともに、ビジネスにつなげられるようマッチング及び事業化支援を実施した。
				・連続講座受講市町村：8 自治体
				・官民共創カンファレンス：登壇 3 自治体、45名
				〔ゼブラ企業成長ネットワーク形成〕
				地域の課題をビジネスの種と捉え、経済的成長と社会的インパクトの創出を目指すローカル・ゼブラ企業の創出・成長に向けたプログラムを実施した。
				・ローカル・ゼブラセッション：10回開催延べ262名が参加
				・アクセラレーションプログラム：6 者支援
				〔アントレプレナーシップ育成プログラム〕
				中高生向けのアントレプレナーシップ教育プログラムを開催した。
				・通常編受講者数：27名
				・上級編受講者数：5 名

成長産業推進課

I 工鉱業総務費

1	水力発電施設周辺地域交付金事業	39,314	38,448	水力発電施設の設置市町村が実施する公共用施設整備及び地域活性化事業に対し、交付金を交付した。 ・交付金交付実績 10件
2	民間ロケット発射場周辺地域活性化事業	43,868	27,150	カイロスロケット3号機打上げに際し、誘客対策としてイベント企画・運営、交通渋滞対策として看板・バリケード等を設置した駐停車禁止規制の運用、自家用車の流入抑制のためのサテライト会場の設置等を実施した。また、地元の機運醸成及び全国へのPRを目的に、宇宙シンポジウム in 串本を開催した。
3	脱炭素経営モデル推進支援事業	1,700	1,700	県内中小企業等の脱炭素化を促進するため、CO ₂ 排出量の算定の実施から計画の策定に至るまでに要する経費に対して補助した。 ・補助金交付実績 7件
4	わかやま洋上風力検討会運営事業	26,734	23,658	和歌山県周辺海域の漁業操業実態調査を行い、案件形成方針の整理を行った。また、有望区域化に向け、先行利用者をはじめとする関係者に対する理解醸成活動を行った。
5	GXビジネスモデル創出事業	35,751	34,493	「わかやま資源自律経済ビジョン」の実現に向けて、家庭用使用済み天ぷら油回収実証事業を継続実施するとともに、資源循環に係るポテンシャル調査を実施した。加えて、県内事業者の脱炭素経営を推進するため、脱炭素経営やGXビジネス創出のセミナーや異業種情報交換会、直接訪問による具体的な取組促進を行った。
6	宇宙まちづくり推進事業	36,700	36,676	県内で宇宙産業の集積を図るため、企業の宇宙産業参入に向けたビジネス創出・事業拡大支援、自治体のポテンシャル調査及びキャリア教育等を実施した。

II 中小企業振興費

1	知的財産戦略事業	18,161	16,917	産学官の技術連携と知的財産活用により、県内中小企業の産業競争力を強化するため、（公財）わかやま産業振興財団に設置するコーディネーター2人の活動費用を補助するとともに、知的財産経営戦略セミナーを開催した。
2	先駆的産業技術研究開発支援事業	121,300	113,662	県内事業者が保有する技術シーズを活用して、商品化に向けた技術確立するための研究開発やサービス化に向けた実証実験に要する経費に対して補助した。 ・補助金交付実績 16件
3	ロボットクリエイター育成支援事業	3,500	3,500	きのくにロボットフェスティバルの開催に係る会場設営・運営費等の一部を負担した。
4	成長産業オープンイノベーション推進事業	20,000	19,982	新規事業開発の手法としてのオープンイノベーションに取り組む県内中小企業を増やすため、セミナーやワークショップによるプログラムを実施した。

Ⅲ 工業技術センター費

1	地域産業活性化促進事業	120,472	109,775	地域産業の活性化と新規産業の創出を支援するため、技術相談・指導、研究開発、受託試験、研修生受入及び技術情報の提供等を実施した。また、（公財）J K Aの補助事業を活用した「ガス透過率測定装置」の購入など、材料開発支援や消費者向け製品の高性能化への対応を強化した。 ・技術指導・相談件数 9,862件 ・受託試験等件数 14,786件
2	コア技術確立事業	8,000	7,403	県内企業のニーズ調査や市場動向等により、今後5～10年先の県内企業の競争力の維持及び強化に必要となる技術（コア技術）について、令和5年度から3箇年の計画で3テーマを設定し、新たな研究開発を実施した。 ・テーマ1「次世代光制御フィルムの開発」 （これまでの成果：3年間の3年目。新規材料を開発、特許出願、論文投稿） ・テーマ2「低濃度CO₂の化成品変換技術の開発」 （これまでの成果：3年間の3年目。固体CO₂源からの効率的な化成品変換反応の開発に成功、論文投稿） ・テーマ3「機能性を有する和歌山産乳酸菌の開発」 （これまでの成果：3年間の3年目。乳酸菌の新たな機能性を確認）

企業立地課

I 企業立地対策費

1	企業誘致活動事業	50,677	41,908	関西圏、首都圏を中心に積極的な企業訪問を実施するとともに、企業立地連絡協議会を通じ、企業情報の収集、各種資料の作成を行った。また、本県の企業立地環境、企業用地等をまとめた「企業立地ガイド」、「用地位置図」及びホームページの作成など本県の企業立地環境の広報を行った。さらに、I T企業の人材確保に向け、県内I T人材の育成を行った。
2	企業立地促進対策助成事業	584,232	516,734	「企業立地促進対策要綱」に基づき、新規立地した誘致企業や増設した県内企業に対し優遇措置を行った。
3	あやの台北部用地開発事業	4,742	4,742	ニーズの高い内陸型大規模用地確保を目的に（株）NANKA I、橋本市及び県で共同開発するあやの台北部用地の造成工事等について、事業主体の橋本市を支援した。